

資料 1

富山広域連携中枢都市圏域の現状

地方創生推進セミナー資料

2017年 8 月30日



1-1. 連携中枢都市圏の形成について

課題 — — — 人口減少、少子高齢社会の克服

東京大都市圏等への人口流出、出生率の低下、地域経済の規模縮小、コミュニティ機能の低下等への対応等が求められる



国の方針 — — — 「連携中枢都市圏構想」の推進

人口減少、少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものにし、地域住民が安心して暮らしていけるように、一つの自治体だけでは解決できない課題等について、自治体の枠を超え、複数の自治体が連携し「圏域」を形成して対処する広域行政の取り組みを推進



富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町の方針

— — — 「富山広域連携中枢都市圏」の形成を目指す

富山市を圏域の中心として、地域の一体的かつ持続的な発展を図り、圏域全体の魅力を高める手段として推進



構成市町村と連携協約締結（関係議案を9月議会に提案予定） 「富山広域連携中枢都市圏ビジョン」の策定

- ・各市町村が一丸となって取り組むべき圏域の将来像
- ・将来の目標人口
- ・連携協約に基づき推進する具体的取り組み

成果指標(KPI)の
設定とPDCAサイ
クルによる推進

圏域の住民が質の
高い暮らしを実感で
きる都市圏の形成



1 - 2. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町村

名称：富山広域連携中枢都市圏

構成市町村：富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町



2-1. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【概要】

圏域の概要

富山県の中央に位置し、富山市を中心に、経済、文化、教育、行政等の諸機能が多数集積し、広域交通網・ローカル交通網に支えられ、強く結ばれた圏域を構成している。

構成市町村の概要

富山市	「薬都富山」として全国にその名が知られており、また、製薬業をはじめとする様々な産業基盤と高度な都市機能、そして、多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市である。
滑川市	ホタルイカや海洋深層水のまちとして知られ、沿岸のホタルイカ群遊海面は国の特別天然記念物に指定されている。古くから「くすりのまち滑川」として全国に知られ、工業の集積は比較的高い。
舟橋村	全国で最もエリアの小さい自治体であり、田園集落が広がっている。富山市のベッドタウンとして発展している。
上市町	古くから物資流通の中心地として栄え、現在は、農業と工業が調和した田園工業都市となっている。まちのシンボル劔岳のほか、麓には豊かな自然が広がり、古来の山岳信仰の歴史を物語る文化遺産を多く有している。
立山町	立山黒部アルペンルート（雪の大谷・黒部ダム）、称名滝などの雄大な自然とともに、麓には緑豊かな里山風景が残り、平坦地には田園風景が広がっている。



2-2. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【概要】

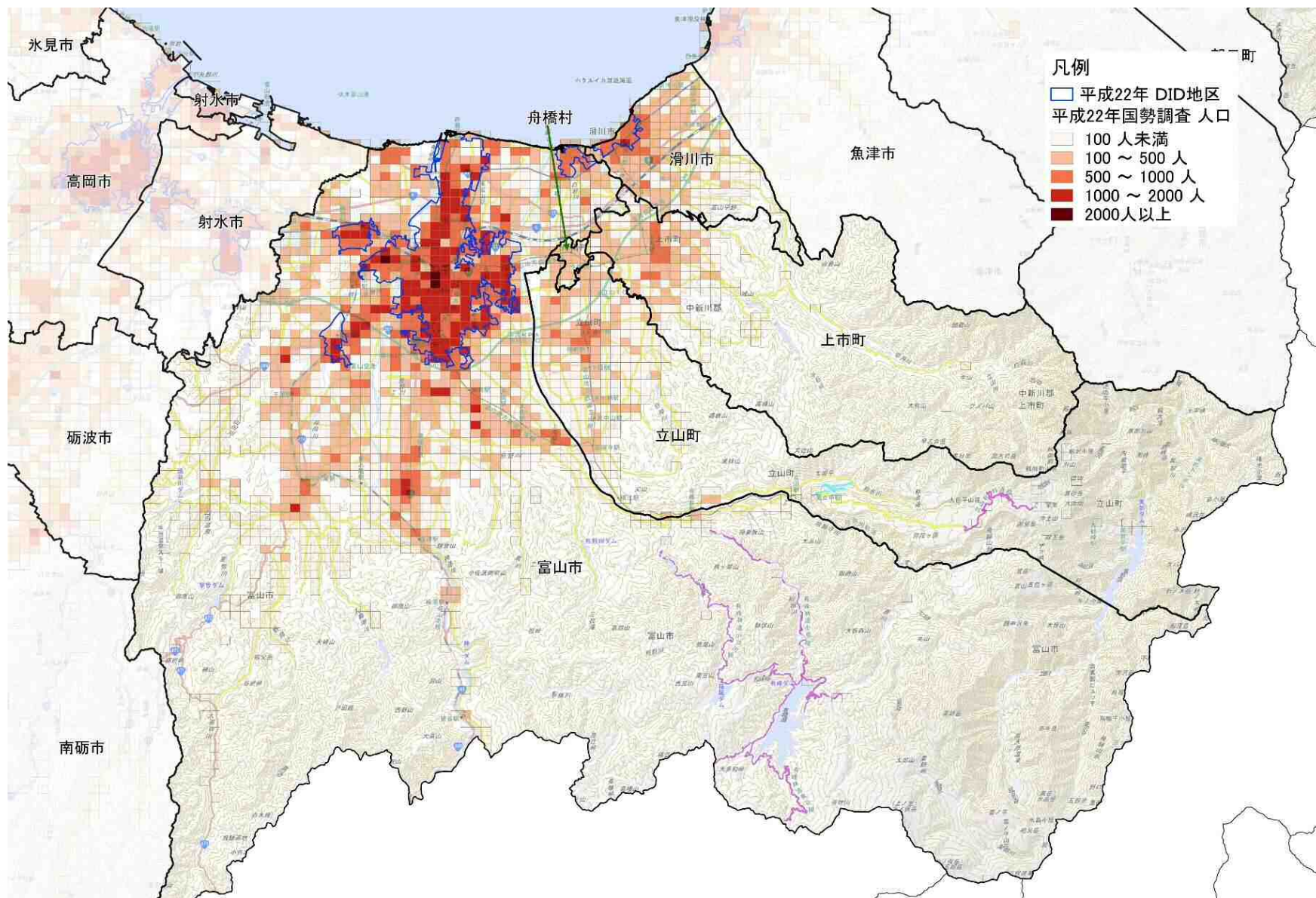
人口、行政区域面積

	人口（平成27年）	行政区域面積
富山市	418,686 人	1,241.77 km ²
滑川市	32,755 人	54.63 km ²
舟橋村	2,982 人	3.47 km ²
上市町	20,930 人	236.71 km ²
立山町	26,317 人	307.29 km ²
圏域計 （県に対する割合）	501,670 人 （47.0%）	1,843.87 km ² （43.4%）
富山県	1,066,328 人	4,247.61 km ²

出典：総務省「国勢調査（平成27年）」
富山県「富山県統計年鑑（平成27年）」



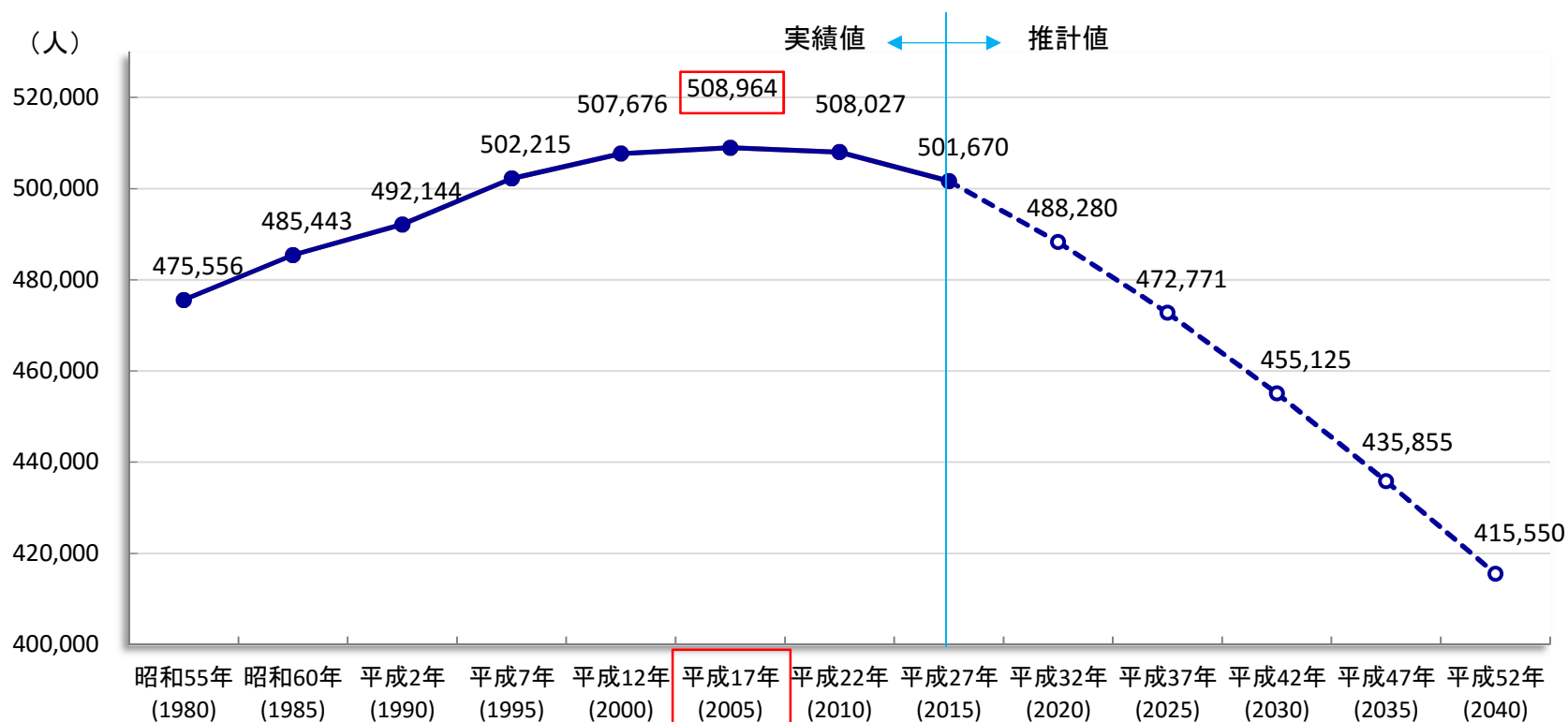
2-3. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口分布】



2-4. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の推移】

- ・ 圏域の人口は平成17（2005）年の508,964人をピークに、以後減少に転じている。
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によると、平成52（2040）年には平成27（2015）年の実績値より約86,000人減の415,550人になると見込まれている。

総人口の推移と将来推計



出典：総務省「国勢調査（各年次）」

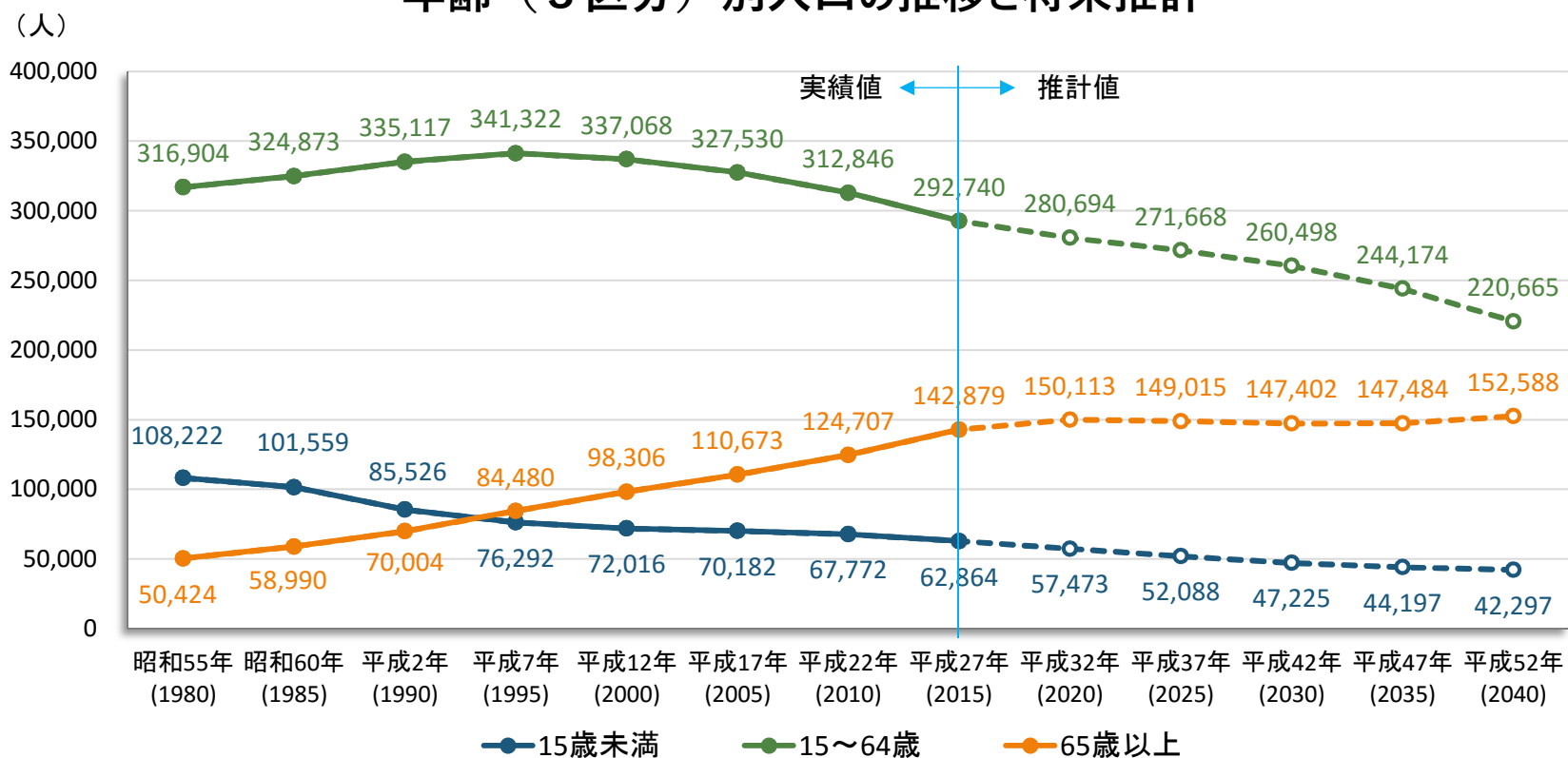
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」



2-5. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の推移】

- ・ 近年では、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）が減少する一方で、老年人口（65歳以上）が増加している。
- ・ 社人研の推計によると、少子高齢化の傾向は今後も続き、高齢化率は平成27（2015）年の28.7%から平成52（2040）年には36.7%になると予測されている。

年齢（3区分）別人口の推移と将来推計



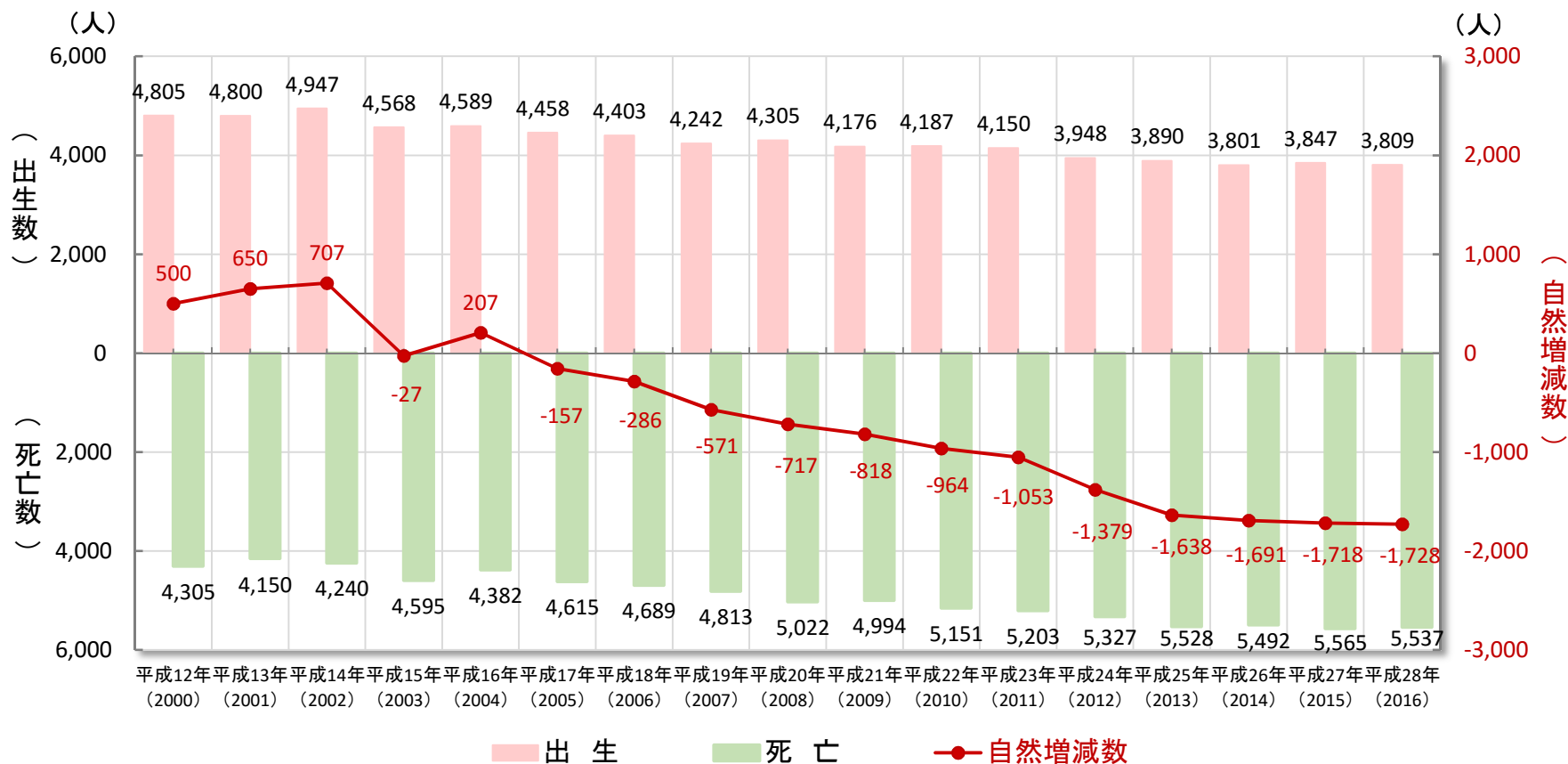
出典：総務省「国勢調査（各年次）」

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

2-6. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の自然動態】

- ・ 少子高齢化の進行により、出生数が減少、死亡数が増加傾向を辿り、平成17（2003）年以降は自然減が拡大する傾向で推移している。

自然動態の推移



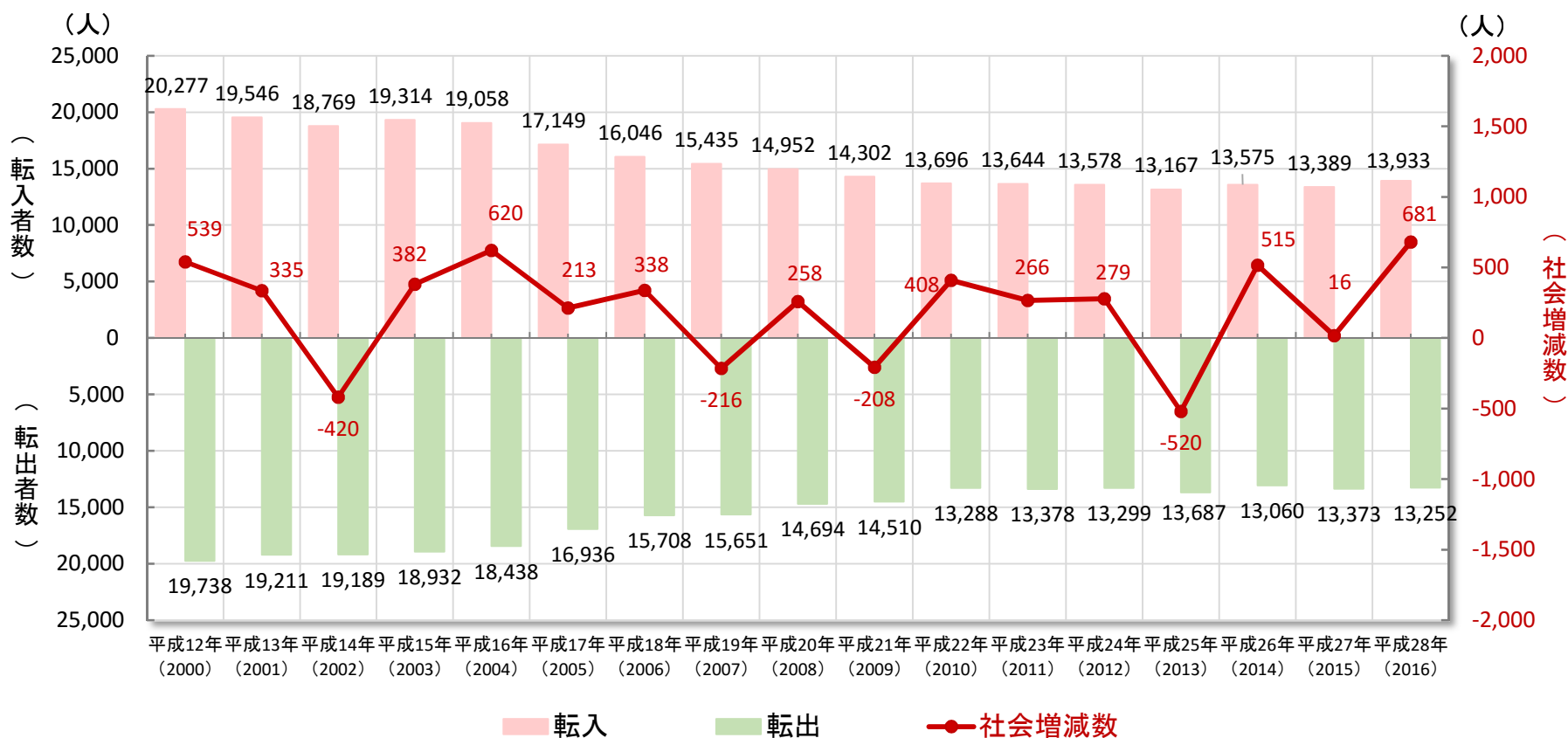
出典：富山県「人口移動調査（各年次）」



2-7. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の社会動態】

- ・ 圏域では総じて転入超過で推移している。

社会動態の推移

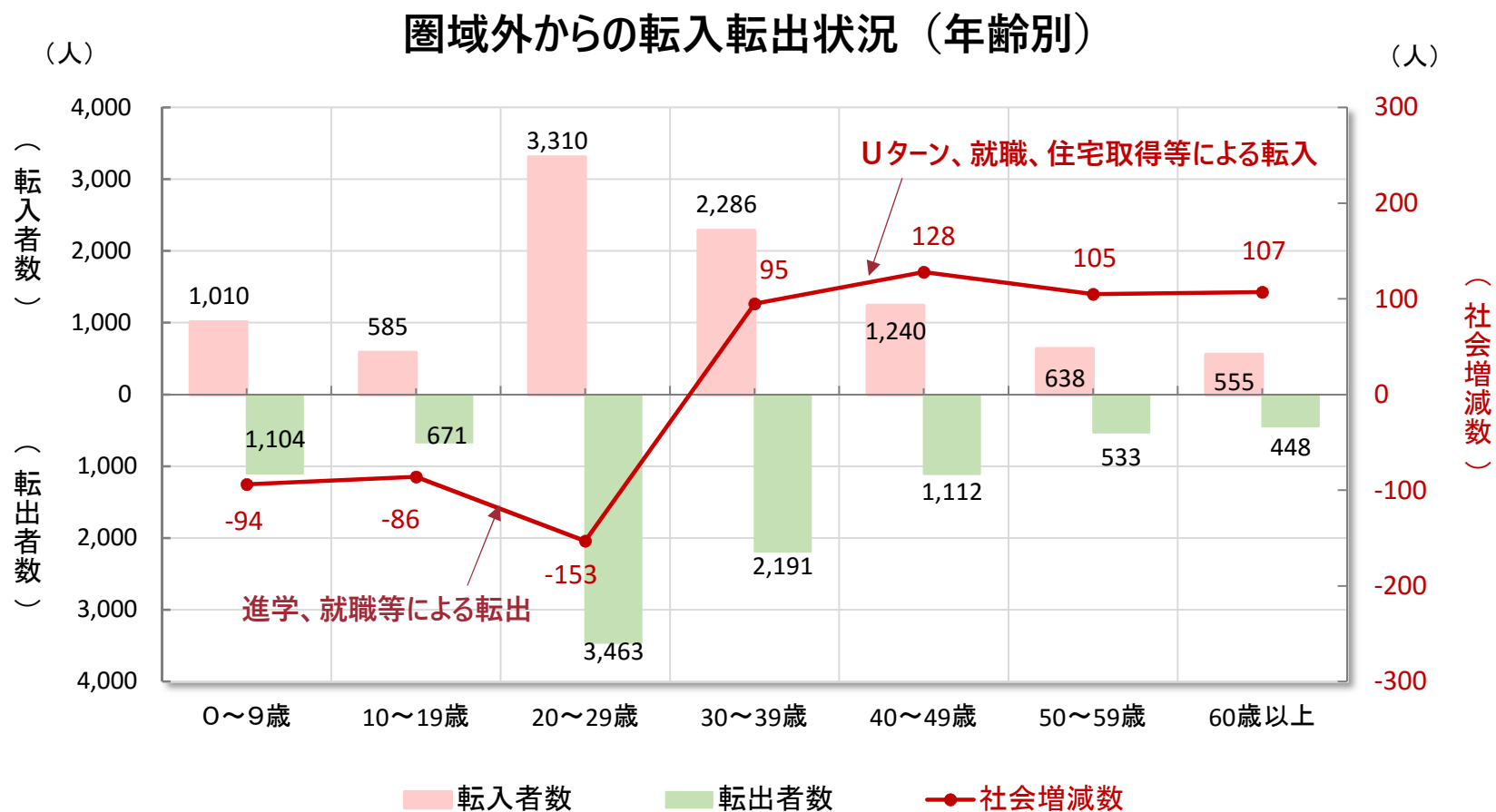


出典：富山県「人口移動調査（各年次）」



2-8. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の社会動態】

- ・ 転出入者数では20代～30代が多く、社会増減数（純移動）では20代以下が転出超過、30代以上が転入超過となっている。10代～20代では進学、就職等による転出が多く、30代ではUターン、就職、住宅取得等による転入が多いものと推察される。

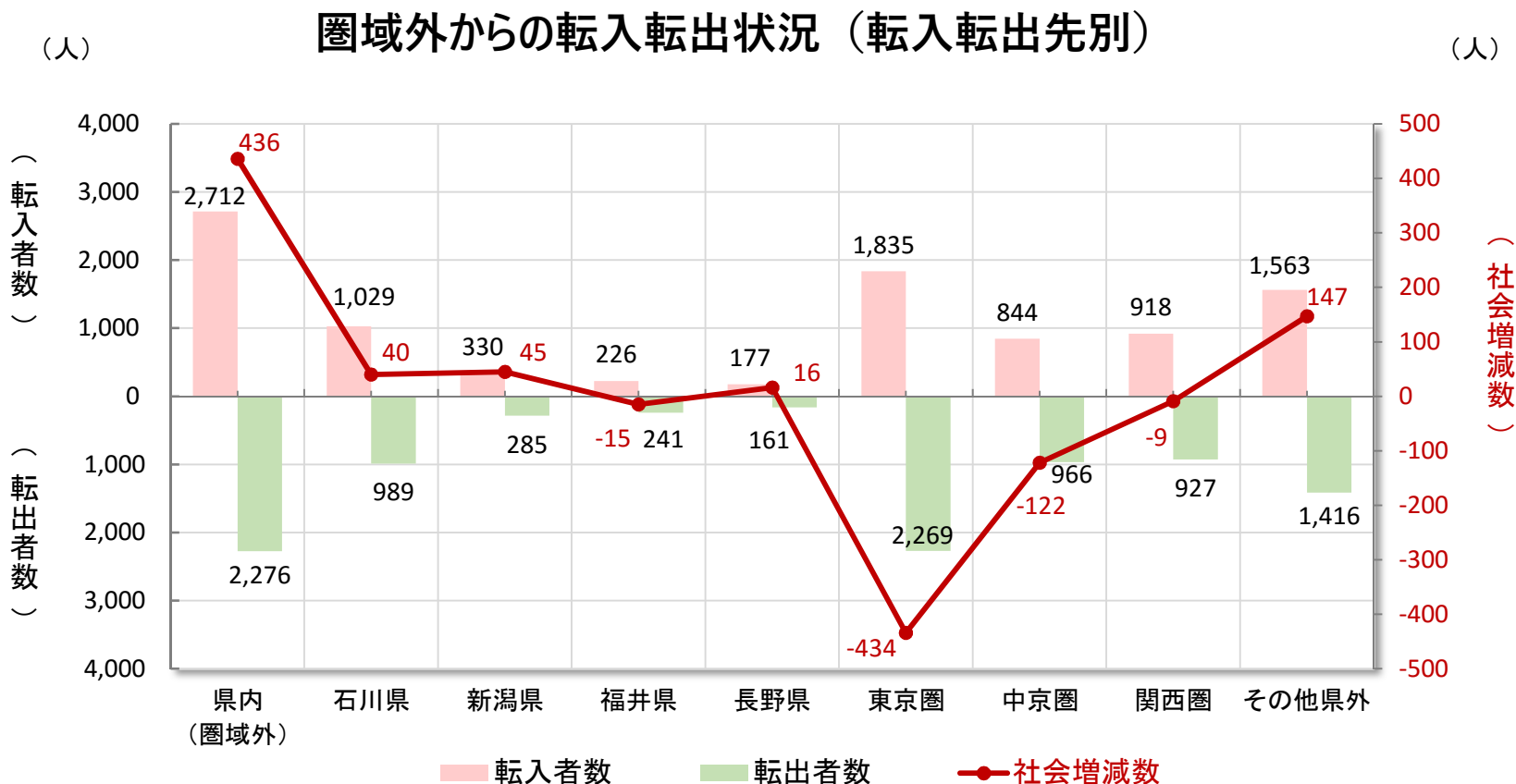


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告（平成28年）」



2-9. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の社会動態】

- ・ 転入転出先は、県内が最も多く、次いで東京・大阪・名古屋の大都市圏が多い。近県では石川県が多い。
- ・ 県内からは転入超、大都市圏へは転出超となっている。特に東京圏への転出超過が大きい。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告（平成28年）」

※東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を合算

関西圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を合算

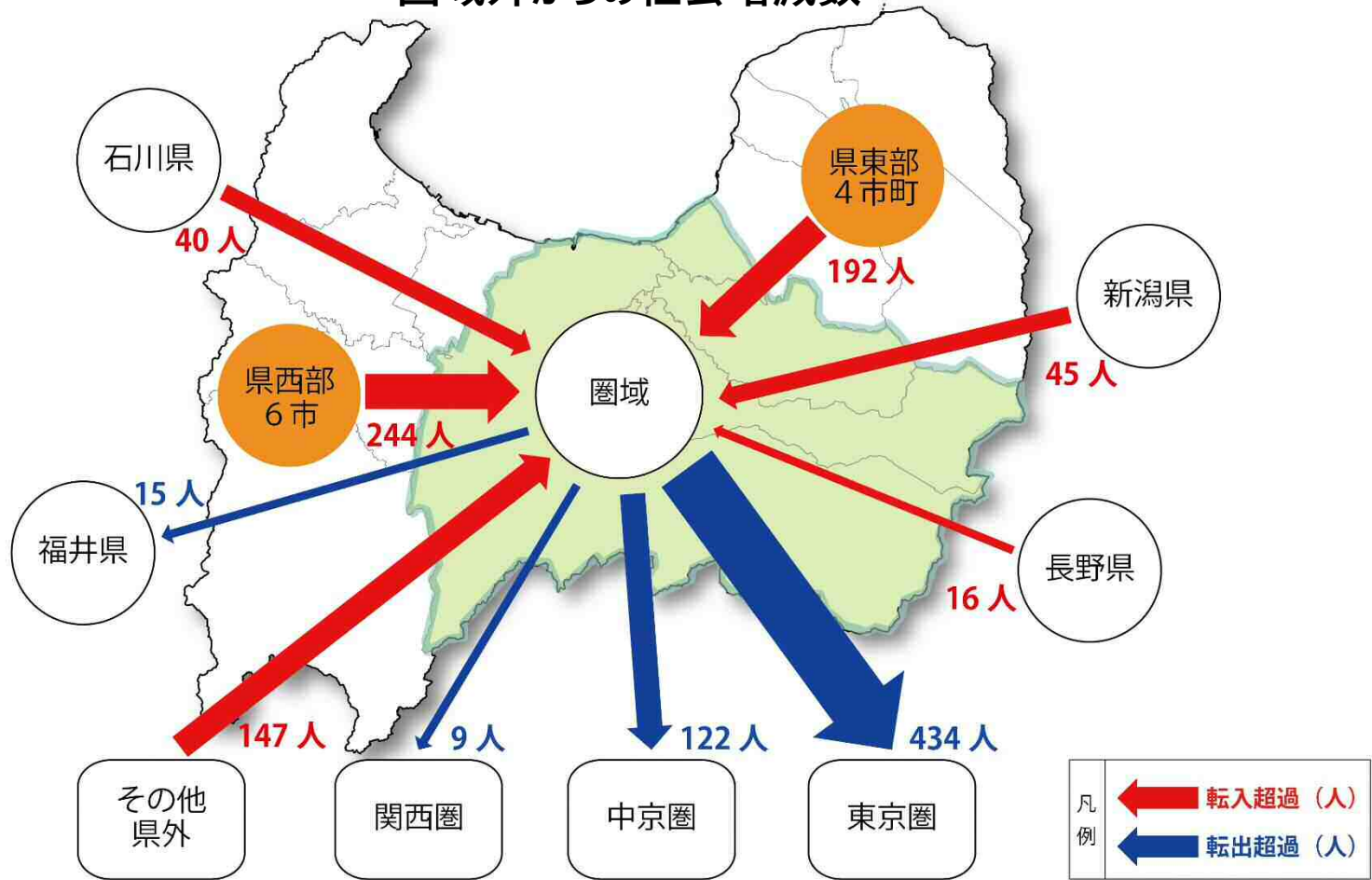
中京圏：岐阜県、愛知県、三重県を合算

その他県外：県内（圏域外）・石川県・新潟県・福井県・長野県・東京圏・中京圏・関西圏以外を合算



2-10. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【人口の社会動態】

圏域外からの社会増減数



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告（平成28年）」

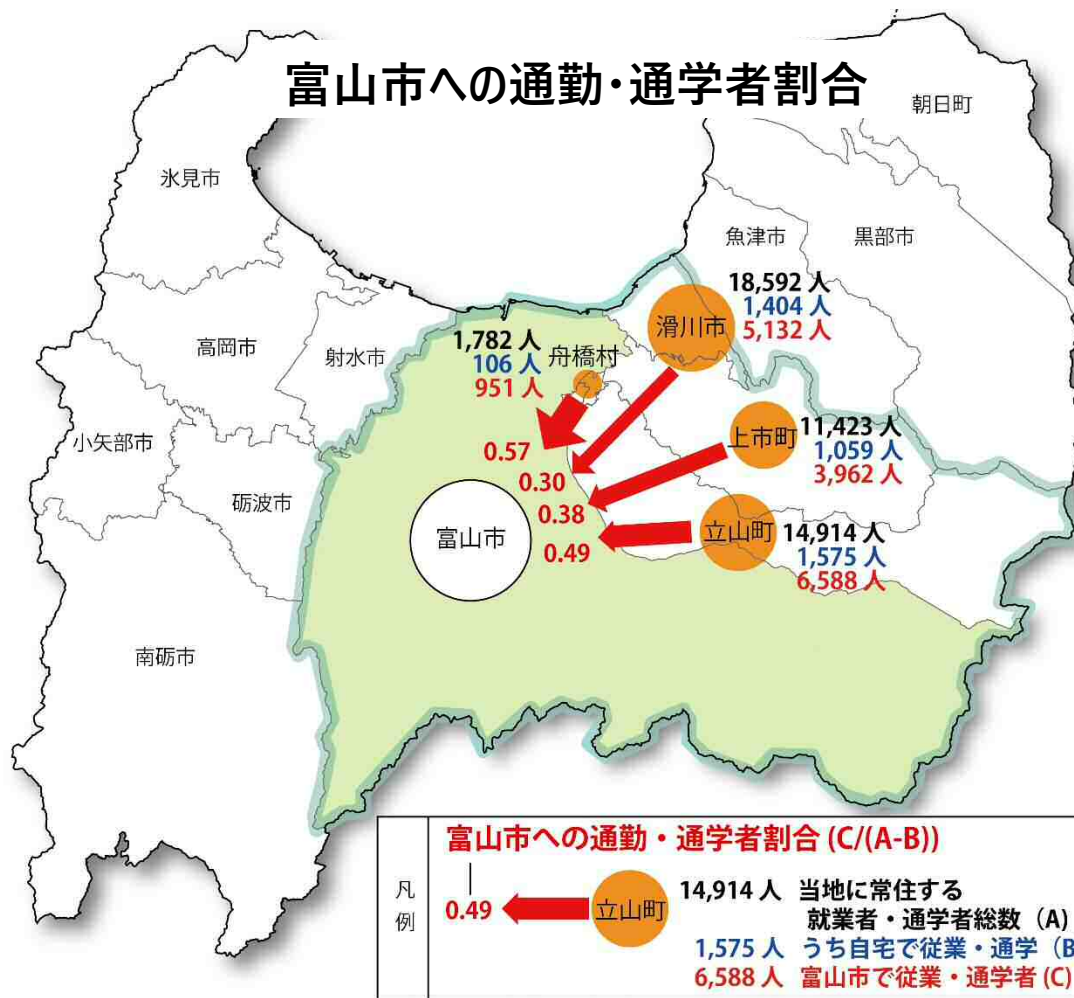
※東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を合算
 関西圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を合算

中京圏：岐阜県、愛知県、三重県を合算
 その他 県外：県内（圏域外）・石川県・新潟県・福井県・長野県・東京圏・中京圏・関西圏以外を合算



2-11. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【通勤・通学移動】

- 各市町村から富山市への通勤・通学者割合は、最も低い滑川市で0.30、最も高い舟橋村で0.57となっており、いずれの市町村も富山市に通勤・通学する人の割合が高い。



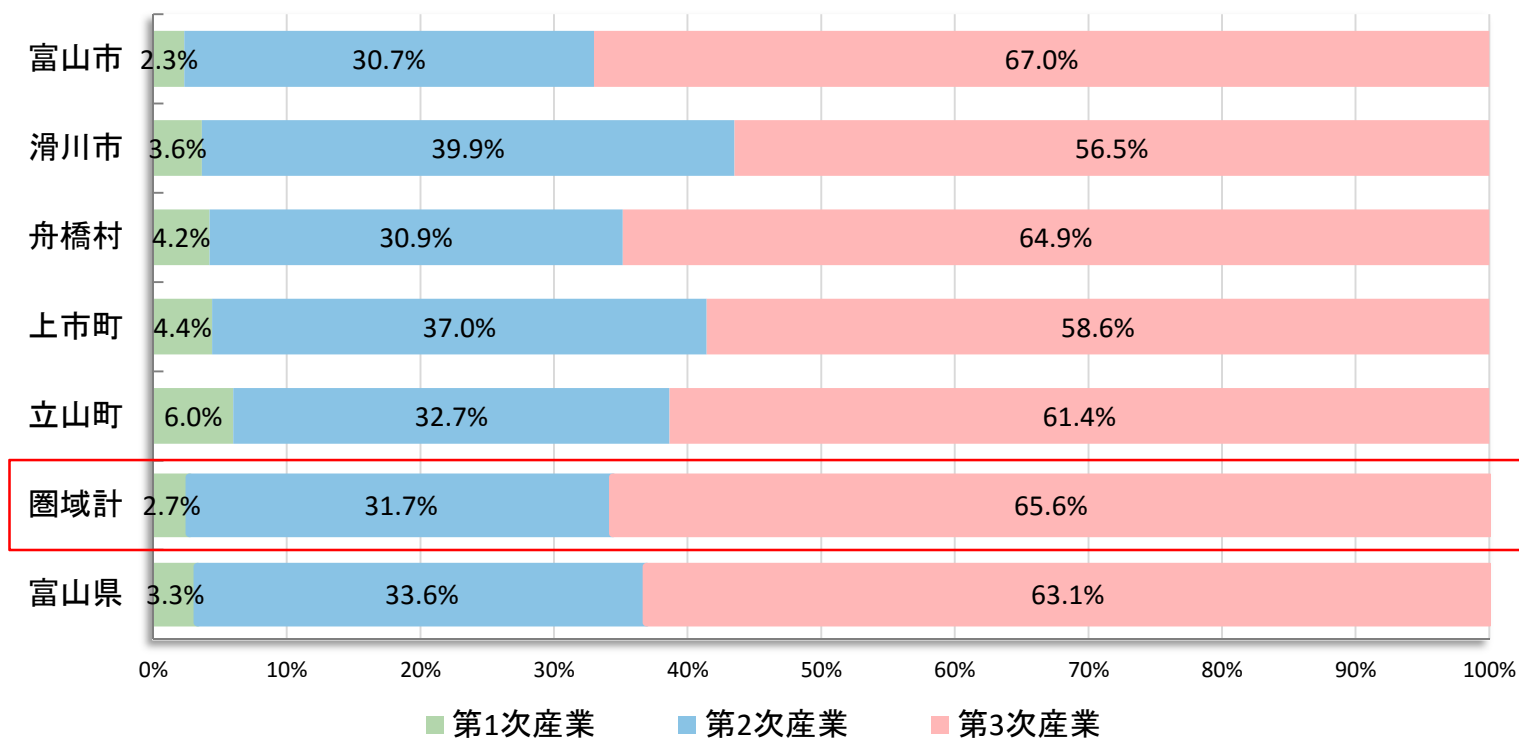
出典：総務省「国勢調査(平成27年)」

※第3表 常住地による従業・通学市区町村、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数

2-12. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【産業】

- ・ 就業人口の産業（3区分）別構成比について富山県と比較すると、第1次産業では、立山町が最も高く、次いで上市町、舟橋村が高い。第2次産業では、滑川市が最も高く、次いで上市町が高い。第3次産業では、富山市が最も高く、次いで舟橋村が高い。

産業（3区分）別就業人口の構成比



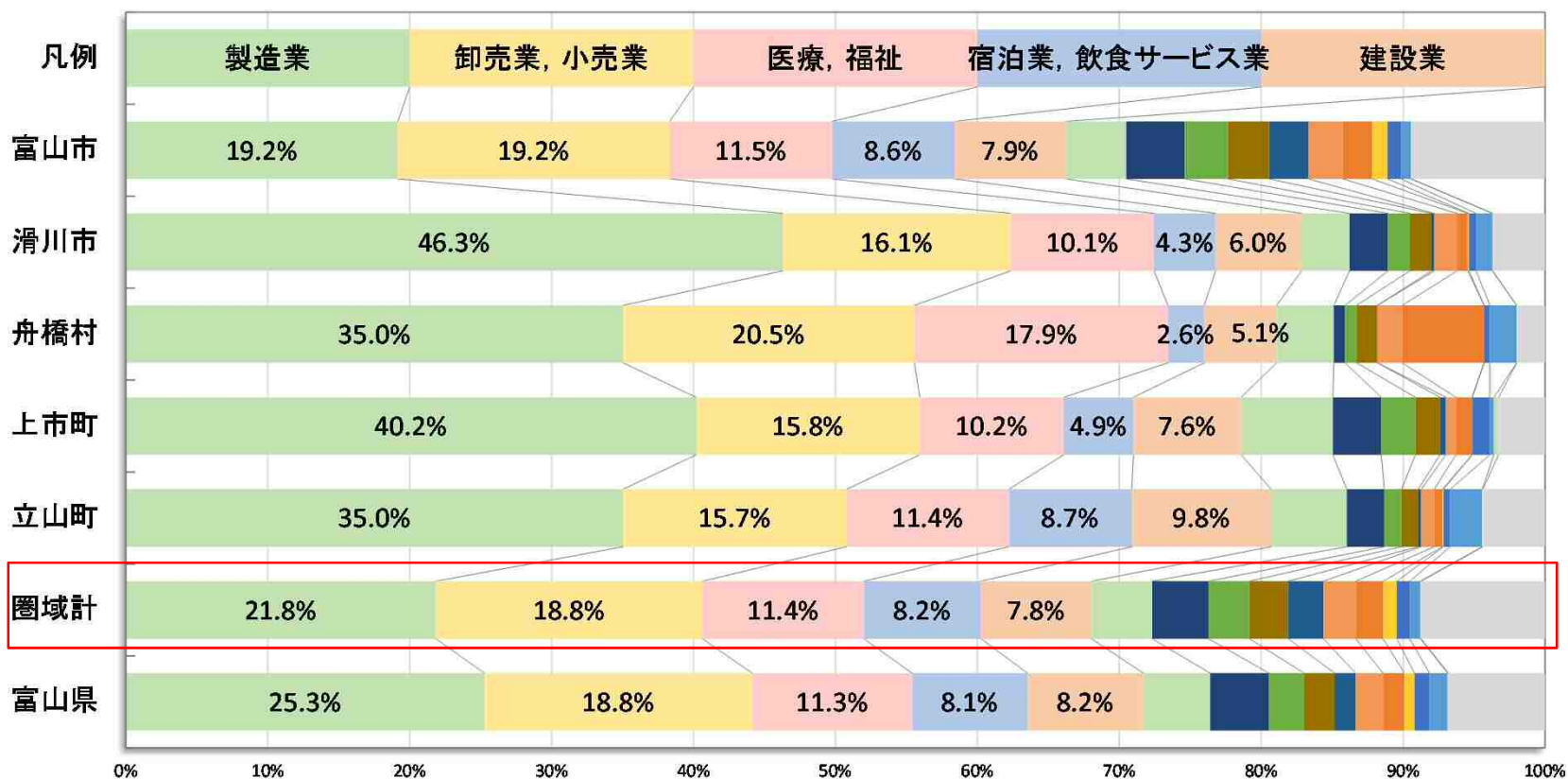
出典：総務省「国勢調査(平成27年)」



2-13. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【産業】

- 事業所従業者数の産業（大分類）別構成比について富山県と比較すると、富山市を除く各市町村は製造業の割合が高い。富山市は偏りの少ない産業構造となっている。

産業（大分類）別事業所従業者の構成比



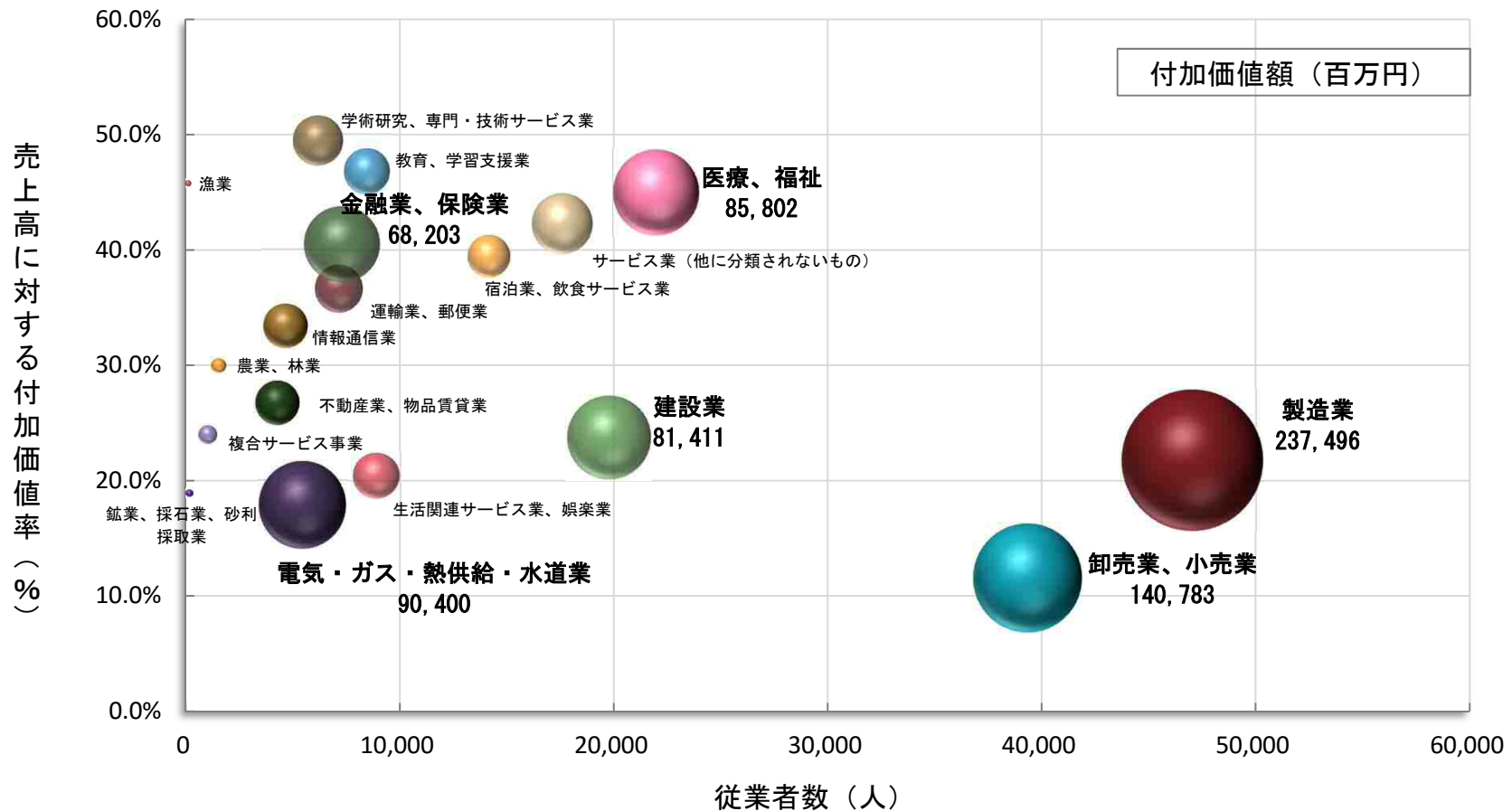
出典：経済産業省「経済センサス(平成26年)」



2-14. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【産業】

- ・ 圏域においては、製造業、卸売業・小売業が付加価値額、従業者数ともに大きい。そのほかに、医療・福祉、建設業、金融・保険業、電気・ガス・熱供給・水道業が目立つ存在となっている。

産業（大分類）別付加価値額、従業者数、売上に対する付加価値率

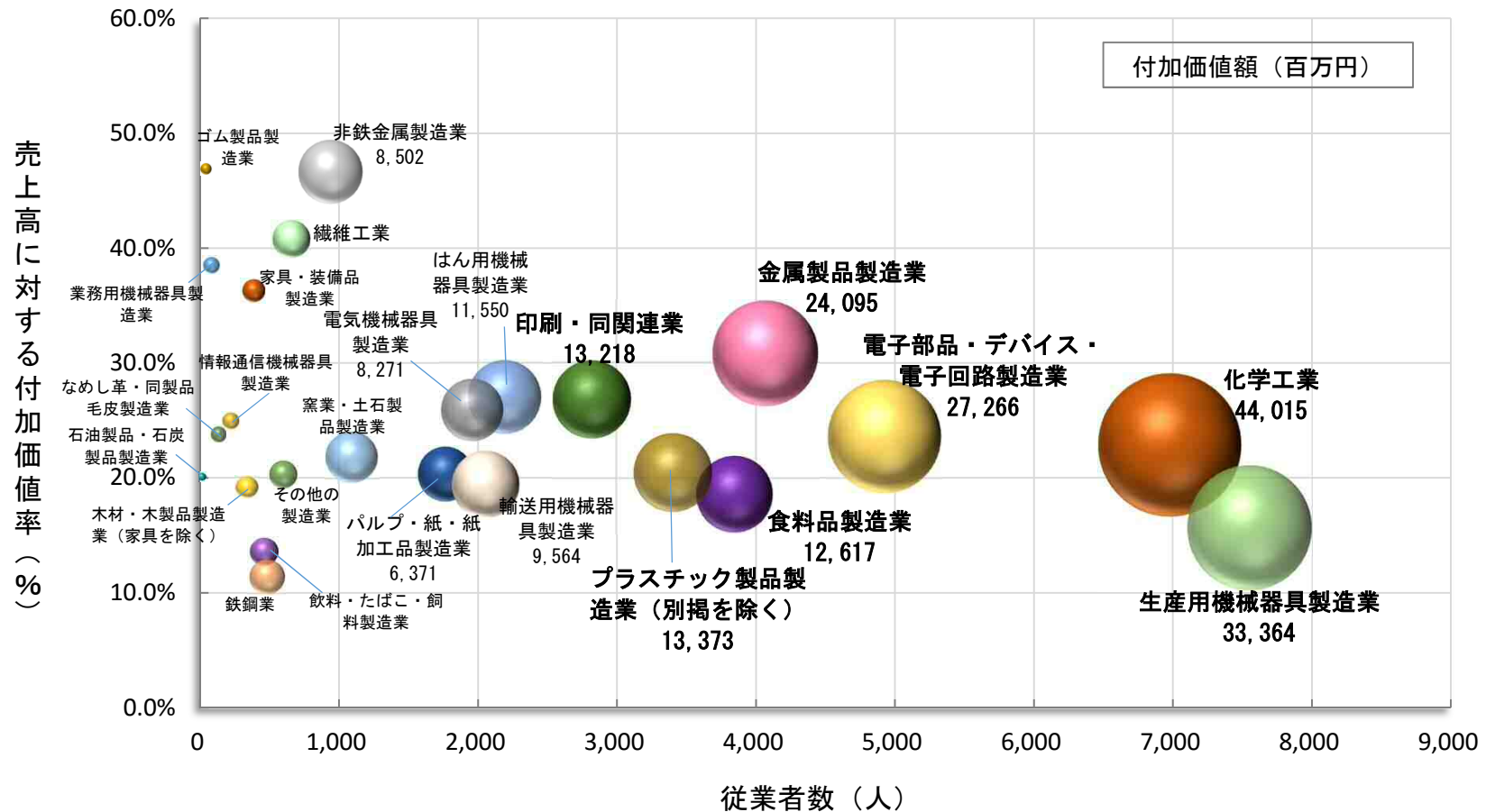


出典：経済産業省「地域経済分析システム(2012年データ)」企業単位集計

2-15. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【産業】

- ・製造業（中分類）別の付加価値額についてみると、化学工業、生産機械器具製造業が際立っており、ほかに電子部品・デバイス・電子回路製造業、金属製品製造業などが目立つ存在となっている。

製造業（中分類）別付加価値額、従業者数、売上に対する付加価値率



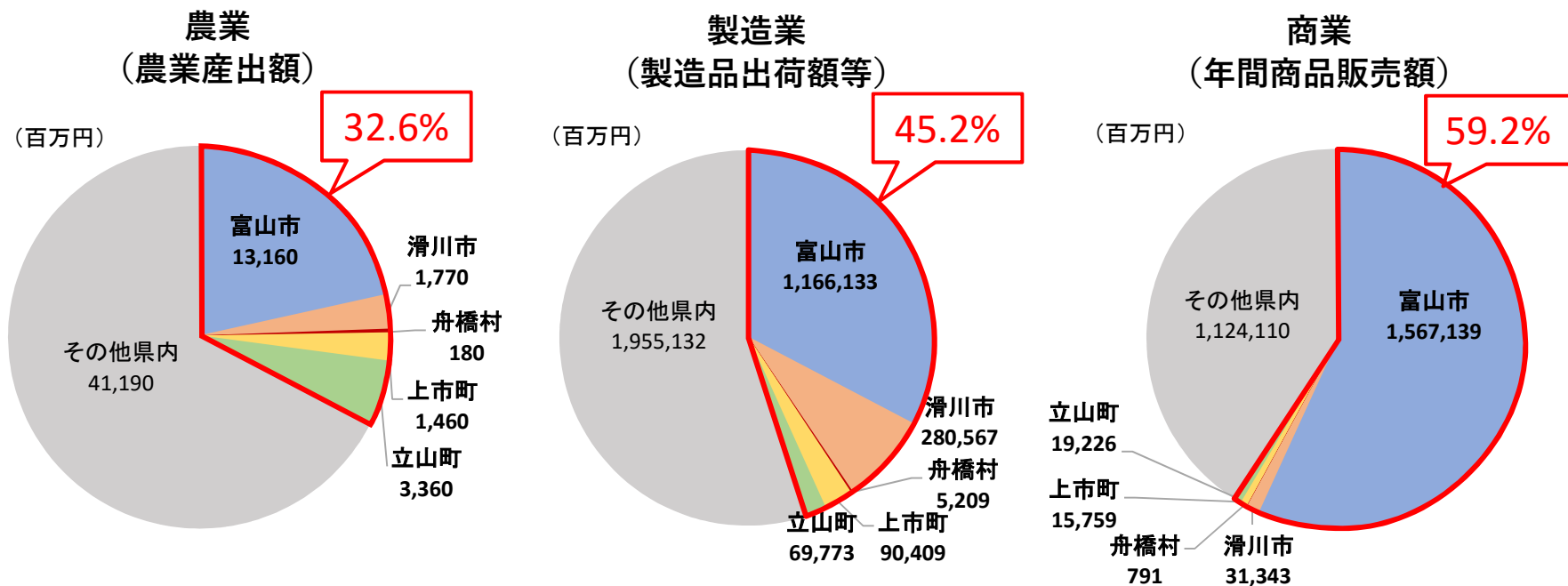
出典：経済産業省「地域経済分析システム(2012年データ)」企業単位集計



2-16. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【産業】

- ・ 農業、製造業、商業の経済規模について、県に対する割合を比較すると、圏域は、商業シェアの高さが際立っている。

農業産出額、製造品出荷額等、年間商品販売額の県に対する割合

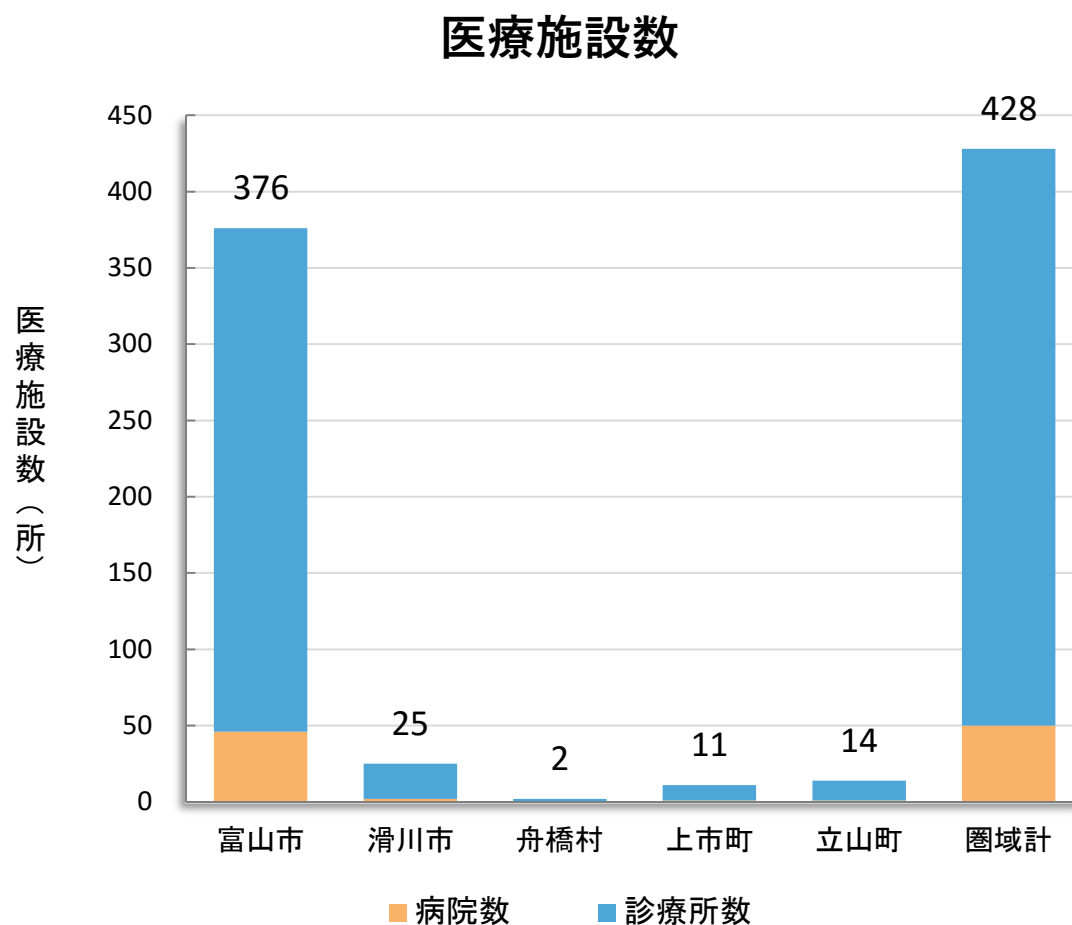


出典：農林水産省「農林業センサス（平成27年）」及び「市町村別農業産出額（推計）（平成27年）」、
経済産業省「工業統計調査（平成26年）」、「商業統計（平成26年）」



2-17. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【都市機能集積】

- ・ 病院、診療所は、富山市に多く立地している。

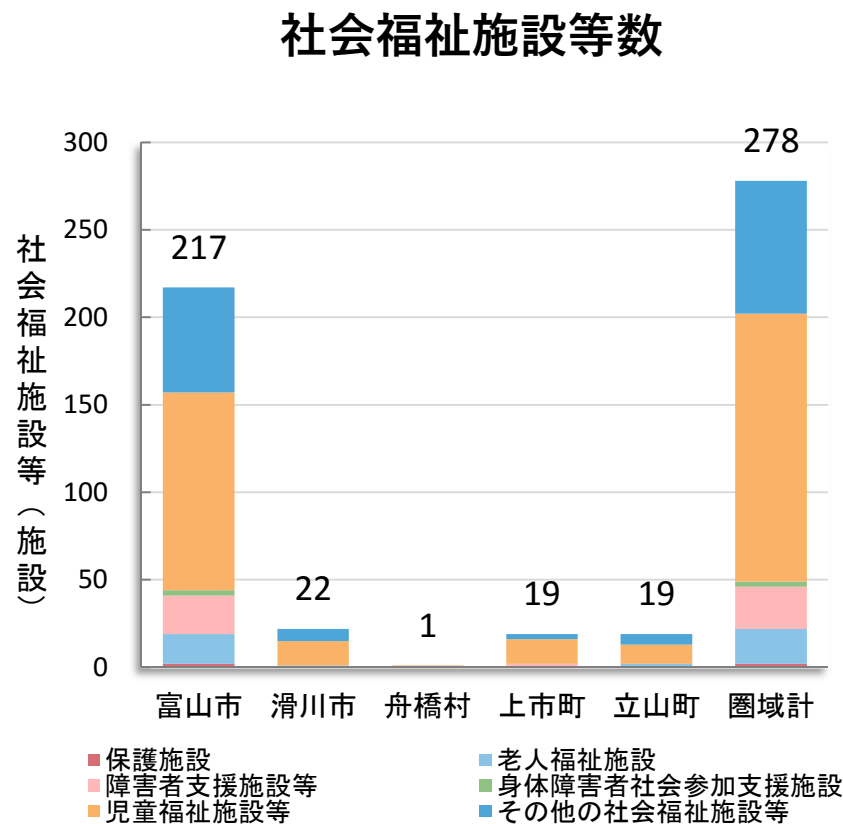


出典：厚生労働省「医療施設調査(平成27年)」



2-18. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【都市機能集積】

- ・ 社会福祉施設は、各市町村の人口規模に応じて分散的に立地している。



出典：厚生労働省「社会福祉施設等調査(平成27年)」

	施設名
保護施設	救護施設、更生施設、医療保護施設
老人福祉施設	養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター
障害者支援施設等	障害者支援施設、地域活動支援センター
身体障害者社会参加支援施設	身体障害者福祉センター、点字図書館、聴覚障害者情報提供施設
児童福祉施設等	助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所等、小規模保育事業所、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、児童自立支援施設、小型児童館、児童センター
その他の社会福祉施設等	授産施設、盲人ホーム、無料低額診療施設、有料老人ホーム



2-19. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【都市機能集積】

- 高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）は、富山市に集中しており、9,782人の学生が在籍している。

高等教育機関別学生数

区分	入学定員	在籍学生数
富山大学	1,685	7,626
富山国際大学	200	834
桐朋学園大学院大学	10	22
富山短期大学	330	648
富山高等専門学校	120	652
圏域計	2,345	9,782

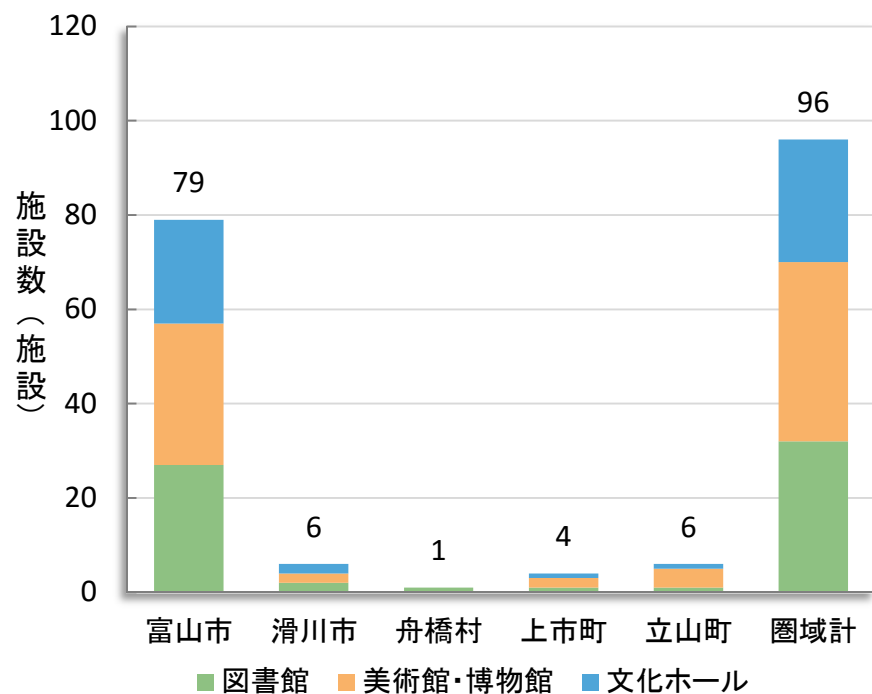
出典：富山県「富山県の高等教育機関(平成28年度)」
在籍学生数(平成29年5月1日現在)は、各高等教育
機関のホームページ等



2-20. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【都市機能集積】

- 文化施設（図書館、美術館・博物館）は、各市町村の人口規模に応じて分散的に立地しているが、立山町において美術館・博物館が比較的多い。

文化施設数



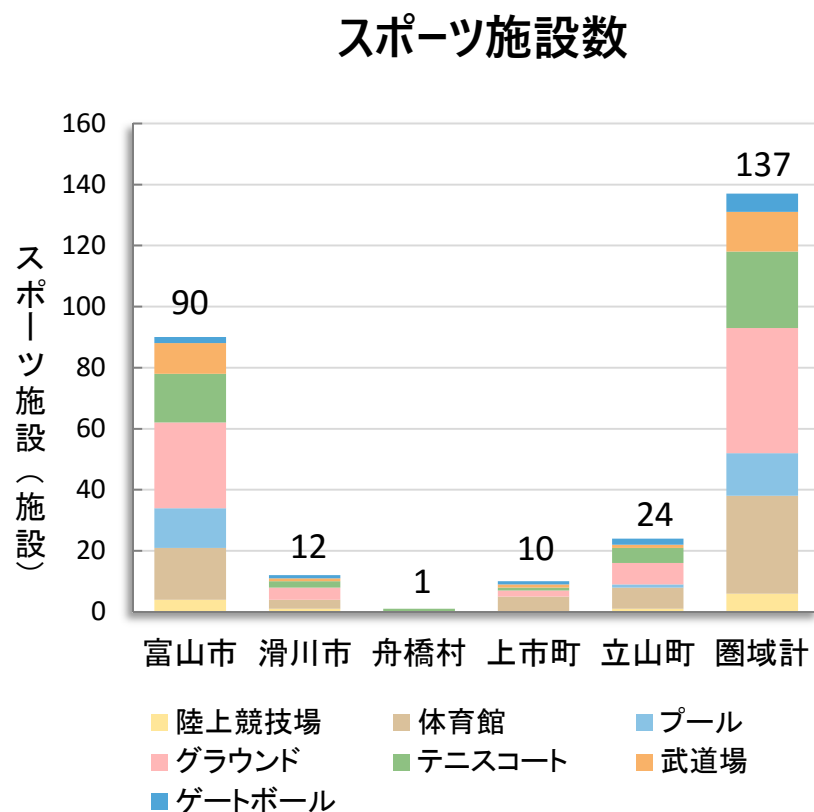
	主な文化施設
富山市	富山市立図書館、富山県美術館、富山市郷土博物館、富山市科学博物館、富山市ガラス美術館
滑川市	滑川市立図書館、滑川市立博物館、ほたるいかミュージアム
舟橋村	舟橋村立図書館
上市町	町立上市図書館、弓の里歴史文化館、西田美術館
立山町	立山町立立山図書館、富山県[立山博物館]、富山県立山カルデラ砂防博物館

出典：図書館は、富山県立図書館「県内公立図書館統計(平成27年度)」
美術館・博物館は、日本博物館協会「全国博物館総覧」



2-21. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【都市機能集積】

- ・スポーツ施設は、富山市以外の市町にも比較的多く立地している。



	主なスポーツ施設
富山市	富山県総合体育センター、富山県総合運動公園、富山市総合体育館、富山市民プール、富山市民球場アルペンスタジアム
滑川市	滑川市スポーツ・健康の森公園、滑川市総合体育センター
舟橋村	舟橋村営テニス場
上市町	丸山総合公園、町民体育館・町民グラウンド
立山町	富山県常願寺川公園、立山町総合公園、立山町町民体育館

出典：富山県及び各市町村ホームページ、
立山町「立山町教育要覧(平成29年度)」



2-22. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【観光】

主な観光資源

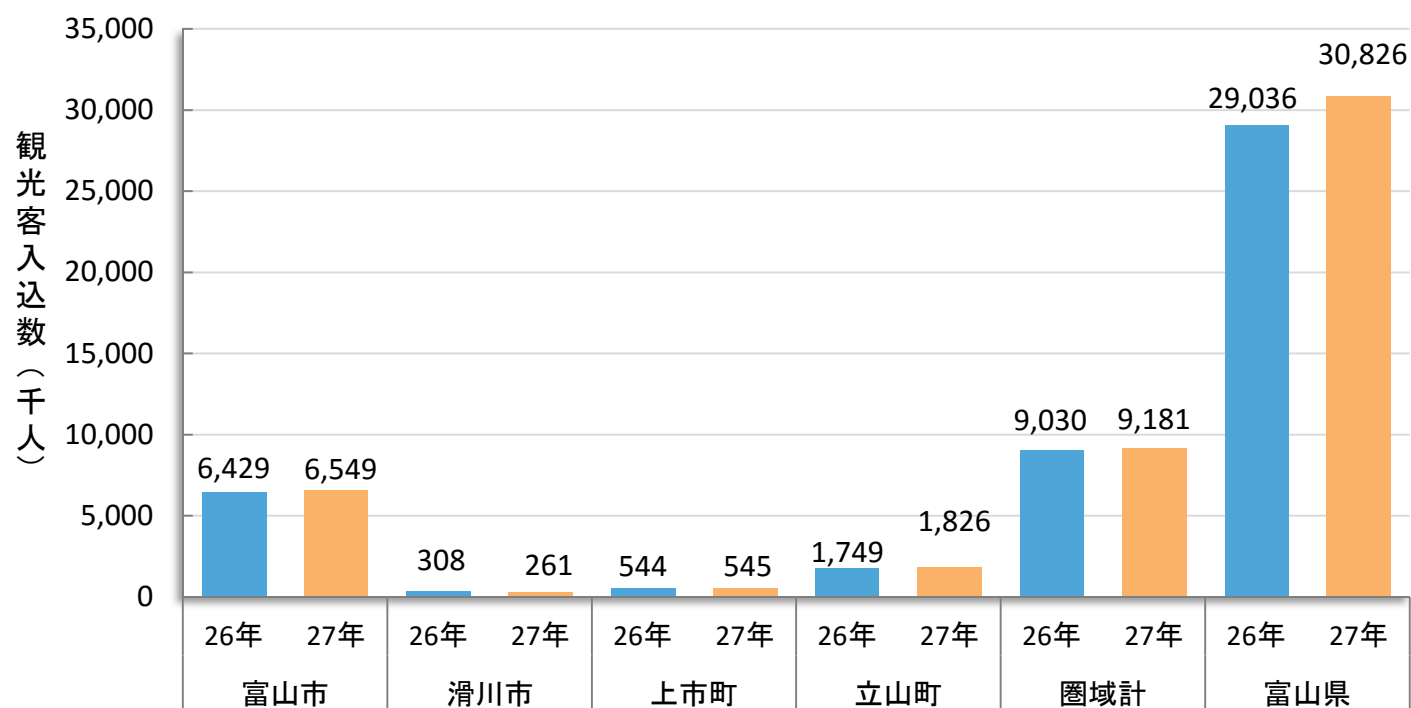
富山市	<p>【自然】 松川ベリ、古志の松原、神通峡、呉羽山展望台、有峰森林文化村、薬師岳</p> <p>【文化・歴史】 富山城址公園、金岡邸、森家、内山邸、浮田家、八尾の風情残る町並み</p> <p>【観光】 池田屋安兵衛商店、広貫堂資料館、源ますのすしミュージアム、梅かまミュージアム</p> <p>【レクリエーション】 松川遊覧船、富岩水上ライン、岩瀬浜海水浴場、牛岳温泉スキー場、立山山麓スキー場</p> <p>【温泉】 古洞の湯、八尾ゆめの森温泉、牛岳温泉、神通峡岩稻温泉</p>
滑川市	<p>【自然】 ホタルイカ群遊海面（特別天然記念物）、東福寺野自然公園、行田公園</p> <p>【文化・歴史】 滑川のネブタ流し、田中小学校旧木造校舎、城戸家住宅主家、廣野家住宅主家、廣野医院、小沢家住宅店蔵、旧宮崎酒造</p> <p>【レクリエーション】 ほたるいか海上観光、深層水体験施設タラソピア、滑川市民交流プラザ</p> <p>【温泉】 あいらぶ湯、みのわ温泉</p>
舟橋村	<p>【文化・歴史】 無量寺</p>
上市町	<p>【自然】 劔岳、千巖溪</p> <p>【文化・歴史】 大岩山日石寺、眼目山立山寺、上市黒川遺跡群、穴の谷霊水、弘法大師の清水</p> <p>【レクリエーション】 三杉公園、丸山総合公園、ふるさと劔親自然公園、馬場島</p> <p>【温泉】 つるぎふれあい館アルプスの湯</p>
立山町	<p>【自然】 弥陀ヶ原、立山・雪の大谷、みくりが池、称名滝、室堂平、黒部ダム、地獄谷、美女平</p> <p>【文化・歴史】 雄山神社、立山曼荼羅の里、越中瀬戸焼の里・陶農館</p> <p>【レクリエーション】 グリーンパーク吉峰、国立立山青少年自然の家、国立登山研修所</p>



2-23. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【観光】

- ・ 圏域の観光客入込数は9,181千人（平成27年）であり、富山市が約70%、立山町が約20%を占めている。

観光客入込数



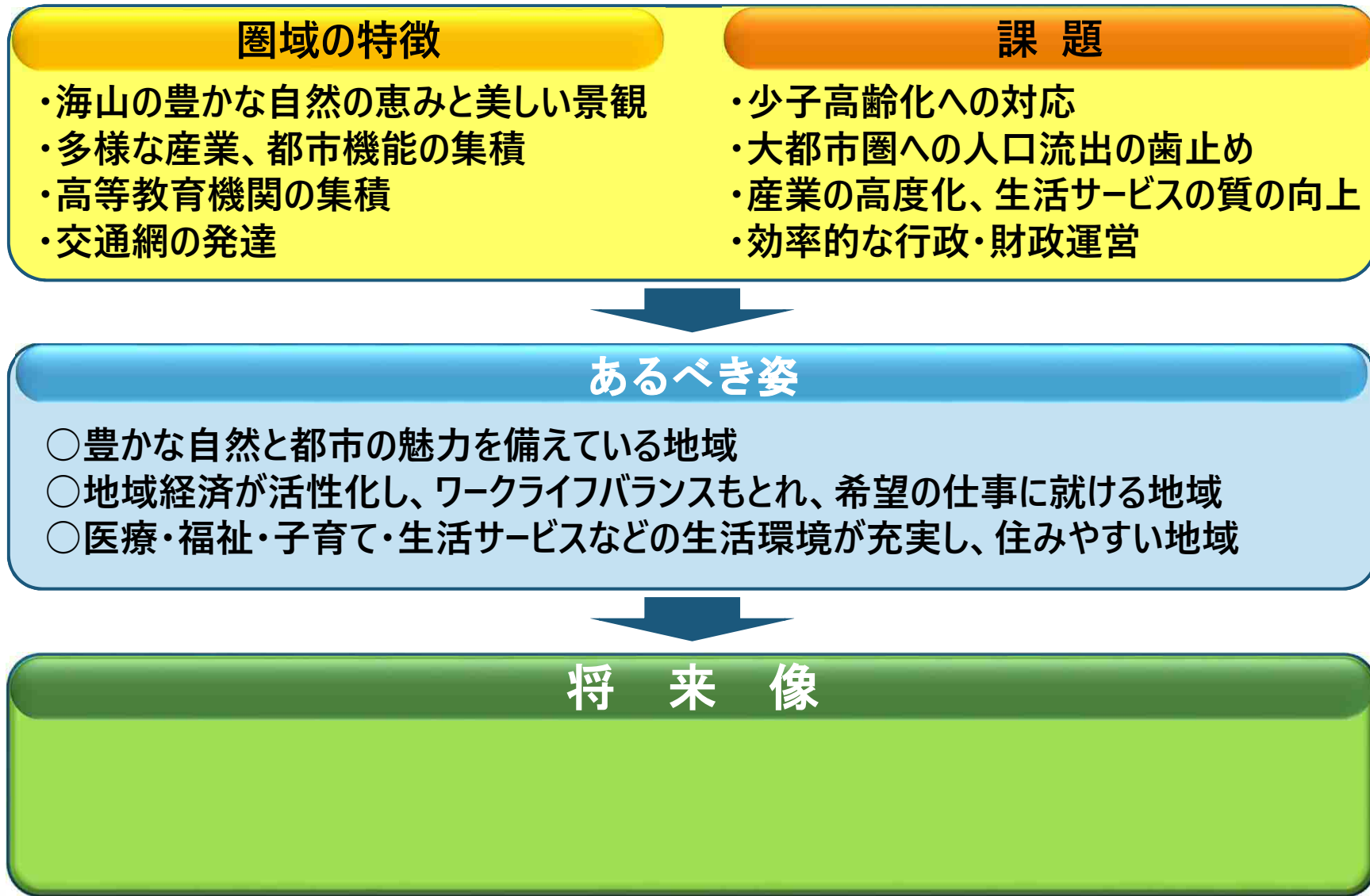
出典：富山県「平成27年富山県観光客入込数(推計)」
※舟橋村はデータ無し



2-24. 富山広域連携中枢都市圏の現状 【交通】

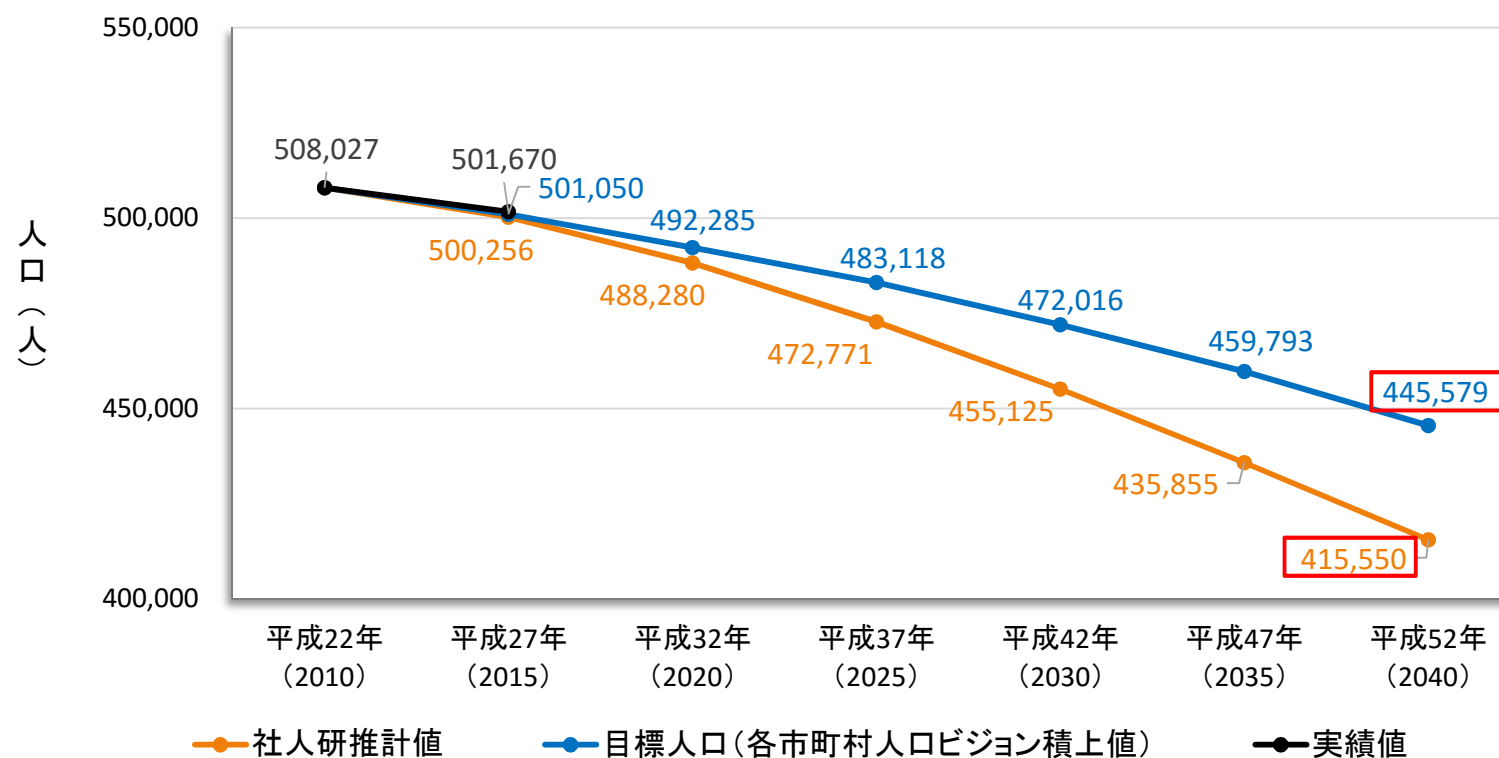


3-1. 富山広域連携中枢都市圏の将来像



3-2. 富山広域連携中枢都市圏の将来像【目標人口】

各市町村が策定している人口ビジョンの目標人口を積み上げると、平成52(2040)年の目標人口は445,579人。



4 - 1. 富山広域連携中枢都市圏の推進【取り組みの方向】

